

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月  
基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当金 毎年3月31日  
中間配当金 毎年9月30日  
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して  
定めた日  
単元株式数 100株  
株主名簿管理人および  
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社  
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵便物送付先※) 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先※) ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
※ 2013年1月より郵便物送付先・電話照会先が上記のとおり変更となっております。  
(インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>  
公告方法 当社ホームページに掲載する  
<http://www.daidoh-limited.com/>  
ただし、事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行う  
上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部  
名古屋証券取引所市場第一部

- 株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会  
証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。  
証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。
- 特別口座について  
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。  
特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

**DAIDOH**  
FOR HIGHER QUALITY IN LIFE

株式会社ダイドーリミテッド

経理財務部  
〒101-8619  
東京都千代田区外神田三丁目1番16号  
TEL.03-3257-5024 FAX.03-3257-5051



株主の皆様へ

## 第91期 中間(第2四半期)報告書

2013年4月1日から2013年9月30日まで



**DAIDOH**  
FOR HIGHER QUALITY IN LIFE

株式会社ダイドーリミテッド

<http://www.daidoh-limited.com/>

証券コード 3205

## 将来に向けた事業の再構築をはかり、利益体質を 築き上げてまいります。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは「お客様第一」「品質本位」の基本理念を基に、製造から販売まで完結できる総合力を活かし、将来に向けての事業の再構築をはかり、利益体質の構築を推進しております。

社員全員の知恵と汗の総合力を結集して経営改革を実行し、お客様からご信頼いただける企業としての発展と社会への貢献を果たす所存であります。

今後とも株主の皆様のご期待に添えるべく全力を尽くす所存でございます。引き続き当社グループの経営にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

大川 伸



代表取締役副社長

川西靖彦

### 当第2四半期連結累計期間の営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策などの効果により、円高是正や株価上昇の動きなど国内経済の回復の兆しが見られました。しかしながら、不安定な世界経済などの影響も受け、国内景気は依然として先行き不透明な状況が続いております。

衣料品業界におきましては、資産効果や景気回復の期待感はあるものの、全体の消費マインドの改善にはいたらず、引き続き厳しい状況下にあります。

このような経営環境のなか、衣料事業は利益率・資金効率の悪い事業の撤退・縮小や販売経路の拡充をはかり、不動産賃貸事業は商業施設のリニューアルを行い事業の効率化を進めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高が12,027百万円（前年同四半期比4.9%減）、四半期純損失は597百万円（前年同四半期は四半期純損失285百万円）となりました。

### 中長期的な取り組み

中国における衣料品製造事業は、1993年の会社設立から20年が経過いたしました。事業環境が大きく変化するな



か、当社グループの利益に貢献できるよう、製造事業の改革を行ってまいります。

当社の主力ブランドである「ニューヨーカー」は、2014年1月にブランド創設50周年を迎えます。節目の年を迎えるにあたりマーケティングを一層強化し、ブランド価値をさらに高めてまいります。日本においては、多様化する顧客志向への対応と新たな消費者への訴求のため、新しい商品構成の完成度を高め、販売経路の拡充もはかり、これまで以上に魅力的な店舗作りを進めてまいります。また、中国を中心としたアジア市場においては、ブランド価値を確立するとともに、収益性向上を目指してまいります。

オーダースーツストア事業の「ミリオンクラブ」は、日本国内での2号店を東京駅八重洲北口にオープンいたしました。紳士服・婦人服のパターンメイドを中心に、お客様にご満足いただけるサービスのご提供を進めてまいります。

不動産賃貸事業では、小田原の商業施設「ダイナシティ」イースト館のリニューアルをこの秋実施いたしました。引き続き、地域密着・地域貢献という原点を大切にしながら、施設全体の魅力を高めてまいります。



## ニューヨーカー ブランド創設50周年 新たなブランドを迎え、ニューヨーカー更なる飛躍へ



50 Years ANNIVERSARY

おかげさまで、ニューヨーカーブランドは、2014年で50周年を迎えます。ブランド創設から、自社工場での生産のもと、上質なクオリティにこだわり、時代ごとの空気を取り入れた日本のトラディショナルを追求、進化させてまいりました。そして、2014春夏コレクションより、カジュアルブランド「ニューヨーカー ブルー」が新たにデビュー。ブランドそれぞれの世界観に彩られたシーズンコレクションを提案してまいります。



ニューヨーカー  
バイ ケイタ マルヤマ



サリー・スコット

Sally Scott.  
10632 OHIO  
9741-9842.  
No Dogs.  
Two Cats



ニューヨーカー ブルー

NEWYORKERBLUE

### 2014 Spring & Summer DEBUT

“気分にかかせ、お気に入り身をまとう”  
毎日着たいをコンセプトに、遊び心のあるトラッドカジュアルスタイルを提案します。  
ニューヨーカーが今日まで培ってきた“トラディショナルマインド”をベースに、新しい日常の過ごし方を想像したときに、“着たい”“欲しい”“と思いたくなるものを提供する、そんなブランドを目指します。



Women's

Autumn & Winter Collection

Men's

Autumn & Winter Collection

HOTEL FLORA  
Emotional Life

知的でモダンな雰囲気の漂う、  
花々をモチーフにした「ホテル・フロラ」。  
今シーズンは、そこに集う美しく感動的な人生をおくる人々の  
洗練されたスタイルをイメージ。  
遊び心とリッチ感のある、  
エレガントなコレクションをお届けします。

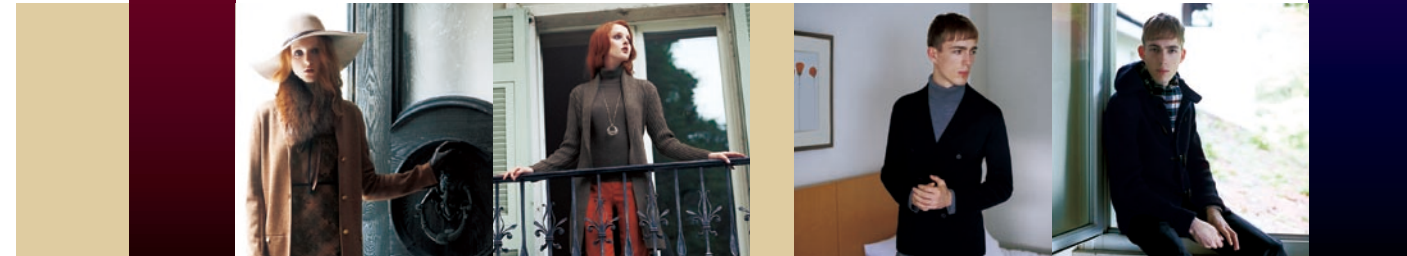
### “HERITAGE”&“MODERN”

“HERITAGE”

古き良き時代の雰囲気を漂わせるホテルで、優雅なひとときを過ごす人々をイメージした構成。シックなハウスタータンや、新登場のエモーションアルタータンをモチーフに、知性あるエレガントな大人の装いを表現しています。

“MODERN”

さまざまな花をテーマにデザインされたゲストルームをイメージ。やわらかな光が射し込む明るい空間で、ナチュラルなつつろぎ感のある装いを表現しています。FUCHSIA、BLUE DAISY、MARI GOLD、LILIUM の4つのシーズンカラーに沿って展開。

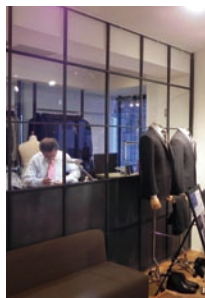






メンズ&レディースのパターンメイドスーツの専門店

## 国内2号店『ミリオンクラブ 東京』がオープン



三拍子揃ったスーツ

**Good looking**  
見栄えの良さ

**Comfortable**  
着心地の良さ

**Durability**  
型くずれしない丈夫さ

### 東京店のアクセス

- 【所在地】 東京都中央区八重洲1-4-18  
TEL:03-5204-6695
- 【交通】 JR「東京」駅北口 徒歩3分  
東京メトロ銀座線「日本橋」駅  
B3出口 徒歩3分
- 【営業時間】 AM 11:00 ~ PM 8:00

本年1月にオープンした「ミリオンクラブ 幕張」に続き、ミリオンクラブ国内2号店『ミリオンクラブ 東京』が、東京駅八重洲北口に路面店舗として9月5日オープンいたしました。国内でのブランド認知度アップと今後の更なる出店の足がかりとしてまいります。

東京店は、幕張店の立地とは異なり、ビジネスパーソンに限らず、幅広い客層にアピール可能な路面店舗です。また、レディースの品揃えも強化しており、女性の方でも入り易い、明るくオープンな空間となっています。

「ミリオンクラブ」は今後も、上海の自社工場で紡績から縫製までを一貫して手掛けるメーカーならではの、三拍子揃ったスーツをお届けしてまいります。



開業から20周年 地域に密着した大型商業施設

## ダイナシティ“イースト館”リニューアルオープン



ダイナシティ イースト館 全体コンセプト

### 私の“隣”にあるSC

みんなの笑顔や、イベントのにぎわいに、あらためて幸せを感じ、暮らしの中の小さな発見に、心がはざむ。いつも隣で微笑んでくれる、“暮らしのエネルギー”

“幸せな毎日”の  
パートナー  
&  
ご近所  
コミュニケーション

### \*『地域貢献賞』とは・・・

一般社団法人日本ショッピングセンター協会が、ガイドラインに基づいて2009年までにオープンした全国2,937のショッピングセンターの中から選考。地域に貢献し、地域のコミュニティの核としても欠かせない存在となっているショッピングセンターであることを、幅広い視野で総合的・客観的に審査。

当社の不動産賃貸事業における主要施設「ダイナシティ」の“イースト館”は、おかげさまで開業20周年を迎えました。オープン以来、地域住民の暮らしに密着し、今では、地域コミュニティの核として、欠かせないショッピングセンター（SC）であると評価されるまでに成長してまいりました。これからも愛されるSCであり続けるべく、この20周年を契機に「私の“隣”にあるSC」をコンセプトに、大規模リニューアルを実施し、11月にグランドオープンいたしました。今回のリニューアルでは、デイリー利用に人気のある

ショップを新たに28店舗加え、フードコートも新設。館内は、ナチュラルで高級感のある上質な床材に張替えられ、毎日訪れても飽きない心地よい空間に生まれ変わりました。

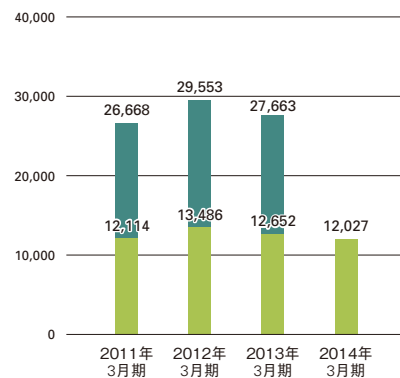
これからも小田原ダイナシティは、「ご来店されるお客さまには笑顔で帰っていただきたい」という開店以来変わらぬ気持ちで、お客さまをお迎えしてまいります。お近くにお越しの際は、是非とも小田原ダイナシティにお立ち寄りください。

## 連結財務ハイライト

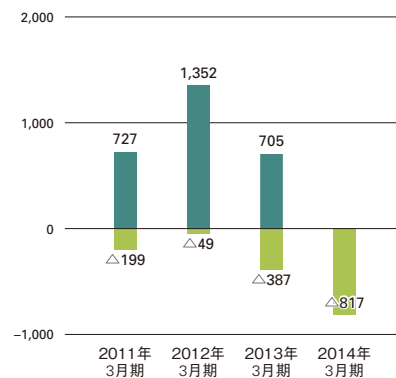
(特に記載のない限り2013年9月30日現在の状況です。)

■ 通期 ■ 第2四半期

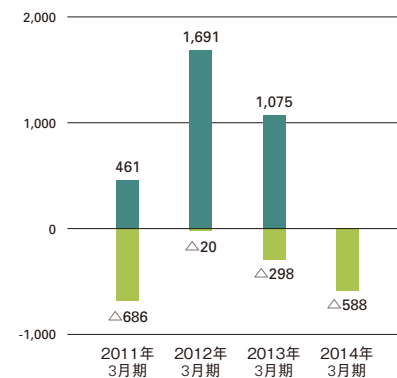
売上高 (単位：百万円)



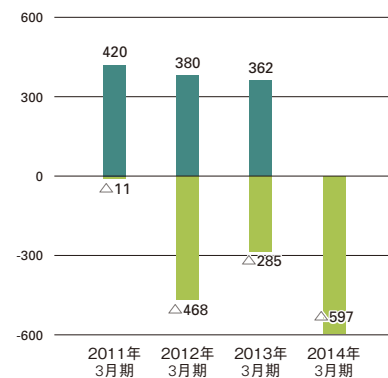
営業利益 (単位：百万円)



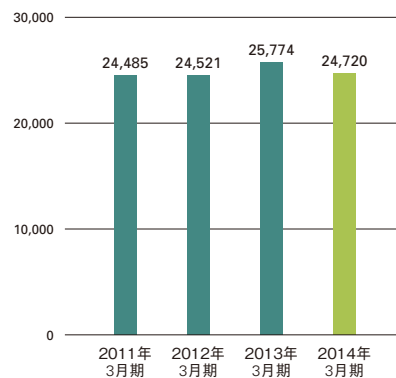
経常利益 (単位：百万円)



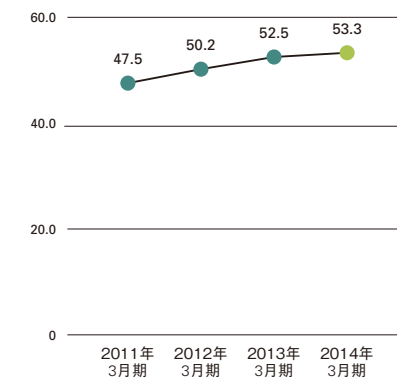
四半期(当期)純利益 (単位：百万円)



純資産 (単位：百万円)



自己資本比率 (単位：パーセント)



## 事業別営業概況(連結)

### 衣料事業

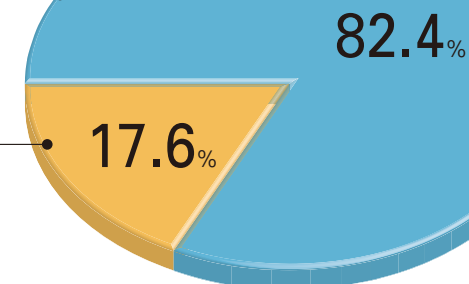
OEM(取引先ブランド製造卸)の受注・販売は、一部事業の撤退を行なったことおよび当社グループの生産工場以外で製造加工する利益率・資金効率の低い事業を縮小したため、売上高は前期比で減少いたしました。

株式会社ニューヨーカーを中心とする小売販売につきましては、商品構成の見直しやオンラインストアの拡充をはかり、売上高は前年同四半期

とほぼ同水準となりました。

オーダースーツストア「ミリオンクラブ」は、東京駅八重洲北口に日本国内の2号店をオープンいたしました。

以上の結果、売上高は99億90百万円(前期比3.4%減)、セグメント損失(営業損失)は12億20百万円(前期は営業損失9億87百万円)となりました。



### 不動産賃貸事業

小田原の商業施設「ダイナシティ」はリニューアル実施による影響があったこと、オフィス賃貸においてテナント契約の終了があったことなどから、売上高が減少いたしました。

以上の結果、売上高は21億36百万円(前期比11.7%減)、セグメント利益(営業利益)は3億95百万円(前期比31.1%減)となりました。

(注) 売上高構成比は、セグメント間の内部売上高を含む金額で算出しております(合計額121億26百万円を分母として算出)。

四半期連結貸借対照表(要旨)

単位：百万円

	前第2四半期 連結会計期間末 2012年9月30日現在	当第2四半期 連結会計期間末 2013年9月30日現在	前連結会計 年度末 2013年3月31日現在
<strong>資産の部</strong>			
● <strong>流動資産</strong>	11,924	12,032	25,587
現金及び預金	2,174	2,323	4,183
受取手形及び売掛金	2,820	2,457	3,132
たな卸資産	5,594	5,655	5,186
その他	1,452	1,655	13,131
貸倒引当金	△ 117	△ 59	△ 46
● <strong>固定資産</strong>	34,225	34,038	23,080
有形固定資産	12,090	11,612	11,730
無形固定資産	1,065	1,194	1,219
投資その他の資産	21,068	21,231	10,130
投資有価証券	18,213	18,742	7,807
その他	3,070	2,858	2,705
貸倒引当金	△ 214	△ 369	△ 382
● <strong>資産合計</strong>	46,150	46,071	48,667

流動資産

たな卸資産が増加した一方で、現金及び預金・受取手形及び売掛金が減少したこと、流動資産の有価証券を固定資産の投資有価証券に組み替えたことなどから、流動資産は135億54百万円減少し120億32百万円となりました。

固定資産

減価償却などにより有形固定資産・無形固定資産が減少した一方、投資有価証券の増加などによる投資その他の資産の増加により、固定資産は109億58百万円増加し340億38百万円となりました。

資産合計

資産合計は前期末比25億96百万円減少し460億71百万円となりました。

	前第2四半期 連結会計期間末 2012年9月30日現在	当第2四半期 連結会計期間末 2013年9月30日現在	前連結会計 年度末 2013年3月31日現在
<strong>負債の部</strong>			
● <strong>流動負債</strong>	9,794	10,260	10,387
支払手形及び買掛金	1,450	1,364	947
短期借入金	3,530	4,390	3,860
1年内返済予定の長期借入金	1,660	1,660	1,660
その他	3,154	2,845	3,920
● <strong>固定負債</strong>	13,368	11,090	12,505
長期借入金	5,340	3,680	4,510
長期預り保証金	6,767	6,099	6,376
その他	1,260	1,310	1,619
● <strong>負債合計</strong>	23,162	21,350	22,893
<strong>純資産の部</strong>			
● <strong>株主資本</strong>	23,407	22,443	23,716
資本金	6,891	6,891	6,891
資本剰余金	8,661	8,612	8,657
利益剰余金	11,709	10,703	12,016
自己株式	△ 3,855	△ 3,764	△ 3,849
● <strong>その他の包括利益累計額</strong>	△ 648	2,098	1,819
その他有価証券評価差額金	△ 455	766	1,414
為替換算調整勘定	△ 192	1,332	405
● <strong>新株予約権</strong>	149	88	153
● <strong>少数株主持分</strong>	79	90	84
● <strong>純資産合計</strong>	22,987	24,720	25,774
● <strong>負債純資産合計</strong>	46,150	46,071	48,667

有利子負債

有利子負債残高は、前期末比3億円減少し97億30百万円となりました。短期借入金を5億30百万円増額し、長期借入金8億30百万円を返済いたしました。

負債合計

支払手形及び買掛金が増加した一方で、有利子負債・長期預り保証金が減少したことなどから、負債合計は前期末比15億43百万円減少し213億50百万円となりました。

純資産合計

利益剰余金・その他有価証券評価差額金が減少したことなどから、純資産合計は前期末比10億53百万円減少し247億20百万円となりました。この結果、自己資本比率は53.3%（前期末は52.5%）となりました。



四半期連結財務諸表

四半期連結損益計算書（要旨）				単位：百万円
	前第2四半期 連結会計期間 2012年4月1日～ 2012年9月30日	当第2四半期 連結会計期間 2013年4月1日～ 2013年9月30日	前連結会計年度 2012年4月1日～ 2013年3月31日	
売上高	12,652	12,027	27,663	売上高
売上原価	6,518	6,333	13,581	
売上総利益	6,133	5,693	14,082	
販売費及び一般管理費	6,521	6,510	13,377	売上総利益
営業利益又は営業損失（△）	△ 387	△ 817	705	
営業外収益	402	422	738	
営業外費用	313	194	368	営業損失
経常利益又は経常損失（△）	△ 298	△ 588	1,075	
特別利益	121	62	1,238	
特別損失	14	88	1,350	四半期純損失
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前四半期純損失（△）	△191	△ 615	964	
法人税、住民税及び事業税	281	249	864	
法人税等調整額	△ 183	△ 260	△ 255	
法人税等合計	98	△ 11	608	
少数株主損益調整前当期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△ 289	△ 604	355	
少数株主損失	△ 4	△ 6	△ 6	
当期純利益又は四半期純損失（△）	△ 285	△ 597	362	

売上高

売上高は前年同期比4.9%減の120億27百万円となりました。これは主に、衣料事業においてOEM（取引先ブランド製造卸）を縮小したこと、不動産賃貸事業においてリニューアル実施による影響があったことなどによるものです。

売上総利益

売上総利益は、売上高の減少にともない金額が4億40百万円減少し、売上高比は前年同期比1.2ポイント低下し47.3%となりました。

営業損失

営業損失は、前年同四半期比4億30百万円増加して817百万円となりました。これは主に、売上高の減少にともない売上総利益額が減少したことによるものです。

四半期純損失

四半期純損失は、前年同期の2億85百万円に対し、当第2四半期累計期間は5億97百万円となりました。これは主に、受取利息・受取配当金・持分法による投資利益などの営業外収益、支払利息などの営業外費用、事業構造改善費用などの特別損失を計上したことなどによるものです。

グループ編成

事業活動と  
主要なグループ会社

当社グループの連結子会社は11社、持分法適用関連会社は1社あり、取り扱い品目や顧客は各社により異なっておりますが、グループを通して『お客様第一』『品質本位』の基本理念を共有して事業運営に当たっております。



衣料事業

製造 大同利美特（上海）有限公司  
(DAIDOH LIMITED (SHANGHAI) CO., LTD.)  
大同佳楽登（馬鞍山）有限公司  
(DAIDOH JARDIN (MAANSHAN) CO., LTD.)  
大同利美特時装（上海）有限公司  
(DAIDOH LIMITED CLOTHING (SHANGHAI) CO., LTD.)  
大同利美特染整（上海）有限公司  
(DAIDOH LIMITED DYEING & FINISHING (SHANGHAI) CO., LTD.)

販売 株式会社ニューヨーカー  
上海纽约克服装销售有限公司  
(SHANGHAI NEWYORKER CLOTHING SALES CO., LTD.)  
株式会社ダイドーインターナショナル  
大同利美特商貿（上海）有限公司  
(DAIDOH INTERNATIONAL (SHANGHAI) CO., LTD.)  
\*株式会社ブルックス ブラザーズ ジャパン

NEWYORKER

Brooks Brothers

貿易 大同利美特貿易（上海）有限公司  
(DAIDOH LIMITED TRADING (SHANGHAI) CO., LTD.)

\*＝持分法適用関連会社

不動産賃貸事業

株式会社ダイナシティ

Dynacity

統括及び管理会社

大都利美特（中国）投資有限公司  
(DAIDOH LIMITED (CHINA) HOLDINGS CO., LTD.)

（注）愛雅仕商貿（北京）有限公司は清算手続きを行っており、2013年9月に残余財産の分配を終了したため、連結の範囲から除外いたしました。

（特に記載のない限り2013年9月30日現在の状況です。）

会社概要

株式会社 ダイドーリミテッド  
DAIDOH LIMITED

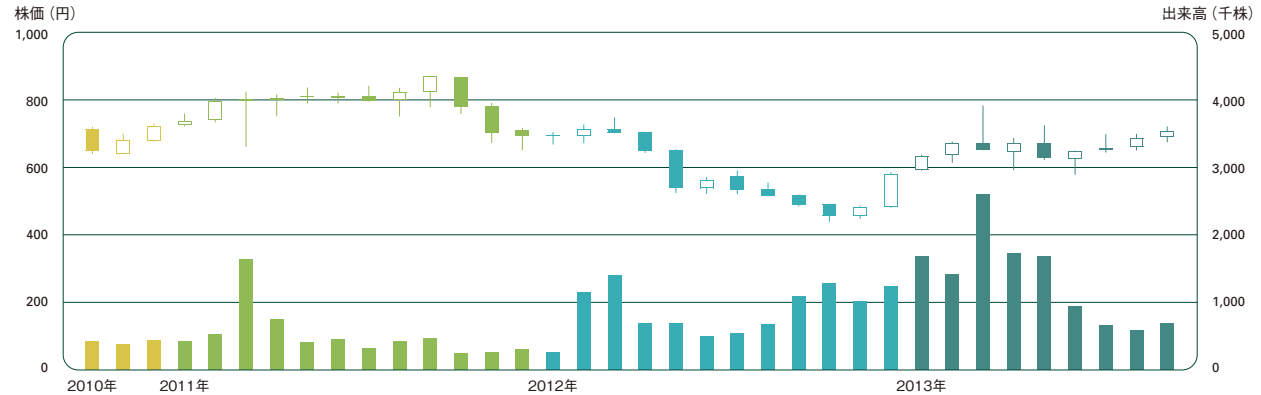
創業 1879年(明治12年)1月  
設立 1949年(昭和24年)10月17日  
資本金 6,891,851,938円

取締役および監査役

代表取締役社長 大川 伸  
代表取締役副社長 川西 靖彦  
常務取締役上席執行役員 戸澤 かない  
取締役上席執行役員 田口 正幸  
取締役執行役員 村尾 勤  
取締役執行役員 福羅 喜代志  
監査役(常勤) 林 玄  
監査役(常勤) 鈴木 森夫  
監査役(弁護士) 田口 哲朗  
監査役(弁護士) 武田 昌邦

(注) 田口哲朗、武田昌邦の両氏は、社外監査役であります。

株価の推移グラフ



株式の状況

発行可能株式総数 150,000,000株

発行済株式の総数(自己株式を含む) 37,696,897株

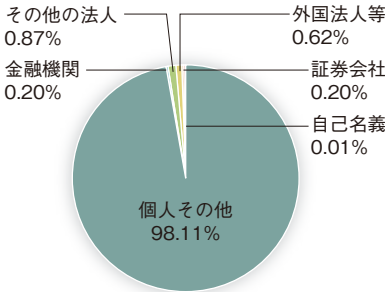
株主数 14,335名  
(前期末 16,201名)

大株主

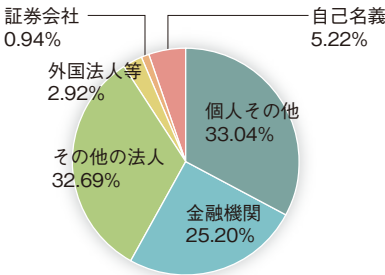
株主名	所有株式数(百株)
株式会社オンワードホールディングス	76,000
株式会社ソー	15,950
三井住友海上火災保険株式会社	12,927
三井住友信託銀行株式会社	11,340
株式会社みずほ銀行	11,283
明治安田生命保険相互会社	9,310
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,357

(注) 当社所有の自己株式(3,722,459株)は、上記大株主からは除外しております。

所有者別株主数分布



所有者別株式数分布



\*本報告書に記載されている計画、戦略などは、将来の予測であってリスクや不確定要素を含んでおります。